

ときめきの瞬間



陶との出会い 秋の陶器まつり

10月2日(土)・3日(日)

下石町と駄知町で秋の陶器まつりが開催されました。下石どえらあええ陶器まつりでは、裏山地区のあちこちに置かれた町のキャラクター「とっくりとっくん」を探し歩く「とっくりとっくんテーリング」、駄知どんぶりまつりでは、1,000種のどんぶりがずらりと並ぶ「1,000種が遊ぶ!どんぶり広場」など、趣向を凝らした催しが企画され、市内外から訪れた大勢の方が焼き物に親しみました。



下石どえらあええ陶器まつり



駄知どんぶりまつり



旬の味 キノコを学ぶ

10月2日(土)

曾木公民館で、秋の味覚であるキノコについて学ぶ「キノコ教室」が開かれました。約30人の参加者は、キノコを採る時の心得などを聞いた後、公民館近くの山に入り、キノコ採りを体験。下山後は、採ったキノコが食用かどうかを、アドバイザーの説明を受けながら真剣に見分けていました。

表紙の一枚 鮮やかに駆け抜ける

10月10日(日)

市の無形文化財に指定されている流鏝馬神事^{やぶさめ}が妻木町の八幡神社で行われました。この日の『乗子』は、地元の小学4~6年生の男子6人。子どもたちが色鮮やかな花笠をかぶり、約130メートルの参道を駆け抜けると、詰め掛けた大勢の観客から盛大な拍手と歓声が送られていました。

